# 生活保護

生活保護は、憲法第25条に規定する理念に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対し、 困窮の程度に応じた必要な保護を行い、最低限度の生活水準を保障するために設けられた制度で す。すべての国民が、生活困窮に陥った場合に平等にこの権利を受けることができることは、生 存権を保障する重要な柱となっています。

この制度は、直接的には生活に困っている国民に対するものですが、間接的には、国民全体の 福祉に極めて大きな役割を果たしています。また、この制度のもう一つの重要な目的は、被保護 者の自立助長を図ることにあります。

#### 1. 生活保護の決定までの流れ

#### 相談

経済的に困窮している場合など、生活支援課で面接相談を実施。

 $\hat{\Gamma}$ 

## 保護申請

生活保護の必要性が高く,本人もしくは親族が申請を希望する場合は,生活保護を申請。

 $\hat{\mathbf{U}}$ 

## 調査

金融機関や生命保険,年金,不動産など,資産の調査を実施。 親族の居所を調査し,扶養の可能性を確認。

 $\Omega$ 

## 判定・決定

調査により得られた情報をもとに、保護を要するかどうかを判定。保護「要」となれば、生活保護を決定。

 $\Omega$ 

生活保護受給後は、生活支援課で様々な自立支援を実施します